九月五日　夕刊

常磐毎日新聞

夕刊

定價一部金貳錢　一ケ月金五拾錢　郵送五厘
廣告料五號　一字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　川崎文治
編輯所　常磐毎日新聞社　福島縣石城郡平町長橋町三五
電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

名香の哲學（一）

眞繼雲山

人間の欲望には限りがないが、しばらくこれを類別するなら金がほしい、名譽がほしい、旨いものがほしいといふのは下等な慾であり花を賞したい、美香にひたりたいといふのは中等の慾であり、佛書を讀みたい、悟りを開きたいといふのは中の上の慾であり、人に悟りを開かせたい、人生を莊嚴にしたい、衆生を救濟したいといふのは上等の慾である、釋尊は菩提樹下に中の上を求めて一化五十年間上等慾に終始せられたのである、こゝに至りて貪欲即佛道の理趣は初めて諒解できる、一口に人間は慾のかたまりといふけれど禪室に坐し、佛書にかこまれ、識古今を越へてひとへに靜寂無心の境に入るとき金もほしからず、名譽もほしからず、美人もほしからず、左りとて喰ひたくもなし、生きたくもなしといふ無心の境に住し得るときがある、その心もちのまゝで何のさゝえられるゝこともなく實生活を營み得るならそれはおのづから然る生活であり法の如く爾かる生活であつて、これを自然法爾といふ自然法爾に住して世を救ひ退轉することなくばそれが現身の佛様である。

私のやうな凡夫はとてもそのやうな境地には到り得ないが、しかし讀みたくはなし、書きたくはなしといふ無心のときに一握の薫香を佛前に点じてゆら〳〵と昇る香氣に心氣とみに朗然たるを覺ゆることがある、私は佛門に歸してから特に美香を愛するやうになつた

佛敎國といはれる蒙古では蒙古人は七ツ道具の一つとして必ず香器（私たちはそれを香ぎ煙草といふた）をたずさへ他人と挨拶するときには日本人のやうに頭を疊にすりつける代りにその香器の蓋を拔いて相手の鼻の下にさしつけ合ふ風習である、事實は大して美香も入つてをらず殆んど形式的になつてはゐるが――それを知つてゐる私は或る年の冬、蒙古奥地深く旅行するときに一握の薫香を布袋につめて入蒙し勿体らしく振り舞はしたるに、何ぢや〳〵といはれるほどに大喝采を博したことがある。

スポーツと筋肉（三）

城南生

前述した様に吾人のなす身体の運動は非常に複雜なもので精密な機械でも到底及び得ないものではあるが實は其の運動の根本である處の筋運動は筋肉が收縮すると言ふ丈けの話しなのである。

右の様に凡ての運動は栓じつめれば筋肉の收縮に由つて起るものであるが筋肉は何故收縮するかを考へる必要が生じて來る、一体筋肉が收縮するには絶對的に刺戟と云ふものが必要である、蛙の脚部の神經筋肉標本を作つて坐骨神經と腓腸筋と大腿骨部とを注意して取り出し前記の神經をピンセットで摘んで見ると腓腸筋は收縮して太く短く比較的固くなると言ふ實驗があるが筋肉は適當の刺戟があれば收縮するものである。

この際筋肉丈けを刺戟しても收縮が起るもので、刺戟には筋肉そのものを刺戟する際の外的刺げきと他の一つは神經係に依る刺げきとの二つに分けられ普通筋收縮の原因となるものは後者の刺げきなのである。

神經に依る刺げきと言つても神經そのものにしげきの働きがあるわけではなく神經中樞即ち腦等に起つた興奮と言ふものが神經を傳つて筋肉に導かれた時これが刺げきとなつて筋肉が興奮し太く短く固くなる即ち收縮するのである、それであるから運動の力源は筋肉の働きばかりではなく、遠く腦とか延髓とかの中樞と之れを傳達する役刷を演ずる廣の神經係の働きが必要なのである。

即ち之れ等の神經係が複雜な多數の筋肉の作用を調節統御して初めて圓滑な運動がなされる譯なのである

試作

藤澤愁雨

君しるや眞紅に映ゆる夕燒
のやがては沈む暮の鐘の音

×

隈もなく晴れしみ空よ今日
もまた鍬打つ土の幸に生き
たり

×

ふりそゝぐ光をすつと根に
おとしそよぎさびしき穗す
ゝきの原

×

過ぎし日の落葉のあとも懷
しき今日學びやを訪ひて見
たれば

×

影のごと我を去りたる彼の
友の面影とゝむ矢車の花

×

死なされば死にても行けよ
このまゝに涙かはかぬこの
ひまにもよ

×

牛追ひて歸る野末にゆくり
なく見出でし月の大いなる
かな

御料理　鹽（コーン）豚（ポーク）
田町　三二三屋
電話三二三番

印刷物の
御用命は總て
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

お醬油は……ヤマフル
醬油　味噌
たひら　正宗
鰹節　食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町【電話營業部一〇釀造工場二七】
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

旭硝子株式會社製品
赤菱印　板ガラス
◆菓子食器
◆硝子壜
製造販賣
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町（電話一四二番）
◇支工場　仙臺市榮町（電話五九七番）

中村齒科醫院
平町鍛冶町七

質物一般
各種債券類
三井質店
平町四丁目川岸
電話六〇六番

吉田眼科病院
平紺屋町、電話六八番

月曜言論

慈善の最高價値

筆者の友人に東京市深川區の某特殊小學校に教鞭を執つて居た者があつた、學校の附近が所謂貧民窟であるの關係からか、屢々此の貧民窟を訪れる視察者の爲めに、或ひは同情慰問者の爲めに案内役に當る機會があつたとの事で、其の實見談なるものを聞かせてくれた、夫れに依ると、此の貧民窟に落ち込んだいはば新參者は最初の内、慰問者等の惠む金品を受くる事に非常な恥かしさを感じ恐縮の態度を示すが、馴れるに從つて働く体を持ちながら惠みの訪問を待ち受ける姿となり、終ひには恰も惠まれる事に特權を有するが如く傲岸不遜な態度を以つて平然と是れを受けるとの事である。

救濟さるゝ事を恥辱と感ぜぬのみか、是れを自已の特權であると心得る樣な惰民の增加する事は苟くも現代の國家社會に於いては憂慮に耐えぬ處と爲さねばならず、且つ誤れる救濟の仕方が此の結果を釀すのである事を考へる時に、徒らに慈善的行爲を美擧としてのみ褒めそやす事は出來ない寧ろ履き違へた慈善行爲は社會に害毒を流すものとして排斥せねばならぬ。

然れ共本紙既報の平第二小學校の元訓導四家安雄氏の如く、自分は不治の難病に焦慮しつゝ身を横へ、力と賴む妻女は生活苦と看護の疲勞に發狂し、世話の行き届かぬため愛兒は重傷を負ふと云ふ樣な稀れに見る悲慘限りなき不運の一家に對しては、人間たるもの誰か一滴同情の涙を禁じ得べきぞ、宜しく此の一家の苦しみを自分達が分けて支持し、世間の溫い同情に依つて此の一家が幾分でも、その痛苦を免れ得る樣に努むべきが吾人の義務である事を痛感する。

慈善的行爲の最高價値は斯くの如き一家を見殺しにせぬ處にある、吾人は不遇な四家氏一家に眞に渡る世間が鬼ばかりに依つて埋つて居ない事實を知らしめたい。

× ×

四家元訓導の一家に厚い世の情け

津田第二校長感激

平町久保町居住平第二小學校元訓導四家安男氏の悲慘なる不遇の生活に關する記事本紙に傳へらるゝや各方面の同情翕然と起り本日金五圓中學校某教諭、二圓町無名氏、一圓同、計八圓の寄附申出でがあつたので津田校長も感激して居る

保護者會

會長決定

昨日の役員會

既報平町小學校保護者役員會は昨日午後二時より第二小學校に於て開いたが出席者二十餘名にて滿場一致會長を井上貞次郎氏に副會長を大嶺庫氏に決定した

縣青年体育大會

本郡の出場選手

昨日役員會で決定

石城郡聯合青年團にては昨日午後一時より磐中に於て役員會を開き來月二日福島市營グランドに於て行はれる縣下各青年團對抗競技大會及び武術大會の出場選手を左の如く決定したが出發は十月一日平發八時五十分であると

(百米)小名　草野　(四百米)內郷　大谷岸雄(千五百米)內郷　小貫新一(一萬米)平窪　關塲喜平治(走巾跳)泉　佐藤兼助(走高跳)內郷　鈴木武雄(砲丸投)泉　佐藤兼介(補欠)內郷　西牧清富(劍道)好間　加藤幸一　三坂田子三郎　草野　木田芳重(柔道)神谷　阿部克英平　安齊利三郎　上遠野　荒川久(相撲)豊間　田中芳太郎平　高橋强　豊間　鈴木初太郎

他縣の灘引漁業に

江名、豊間が逆襲

石城郡下各漁村に於ける灘引漁業は縣令を以つて十月一日より開始すべき事になつて居るが最近江名、豊間等の沖合には九月一日より灘引漁業を許可された千葉茨城宮城の漁業者が押掛けて活躍して居るので地元江名、豊間の灘引業者は廿日頃より宮城茨城沖合に逆襲出稼ぎをなすべく準備中である

軟式野球

盛況豫想さる

平軟式野球協會主催マルトモ運動具店後援の下に行れる第二回平町軟式野球大會は今秋十月上旬開催される事になつたが昨年第一回の參加チーム二十五組より見て一段と野球熱の勃興した

る今年は更に盛況を呈するであらうと豫想さる

平町人事

回出生

△田町二四　佐藤熊治氏五男　晃

一毛作入賞

平町の分氏名

平町及び神谷村兩農會並に神谷農事試驗分場聯合の二毛作品評會の審査は去る三日發表され來る八日午後一時より神谷試驗分場に於いて褒賞授與式を擧行する事になつたが平町の入賞者は左の如くである

(大麥)吉村留吉　青木甚平　高橋亥之吉　鈴木淺吉　三森長次郎　松崎龜松　白土助治郎　猪狩金太郎　遠藤彦治(菜種)猪狩喜想兵衛　高橋鶴吉(紫雲英)鈴木惣五郎　菜花新吉　鈴木定義(甘藷)大谷利定

匪賊掃蕩夜話 (5)

滿洲奉天駐劄軍曹　平町出身　矢野重光

七、大刀會匪と御守

出動後四日目の六月九日の朝永陵街附近に於て戰斗を交へた、我等第二小隊は殘念乍ら大行李監視の爲に第一線に出る事が出來なかつた、吾等は勿論初年兵の殘念がる事其の日の午後二時頃大行李を襲ふたのが大刀會匪であつた、迷信を信じて槍を持つて進んで來るそれつ!!!と監視の部隊はそれ〴〵部署に就いた、ドドンンと射つた事一番先の奴が蜂の巣程身に穴をあけられて斃れて終つた、その後より進んで來る一味、それを見てアット止まつてしまつた、グッ〴〵して居る中にドット四人程一度に斃れた、如何に迷信を信じ藥を飲んでも一時にさめたのか尻に帆を掛けてホー〴〵の體で逃げた、その後の事である、或る休憩の時、時間があつたので上衣を脱いだ所御守護の袋をさげて居た、それを見たA支那人「這個甚麼(チョコーシヨンマ)」と問ふた、これは御守だと云ふたらA支那人一寸默(ニンデ)して居たが「恁的(タイ)大刀會(ヤンデイ)一樣的」と言ふた、隣り會せた戰友も皆あんぐり開いたが塞らなかつた、よく考へて見ればやつぱりそんな樣な氣もしてあつた

八、滿洲特有の甕風呂

一日の疲勞を甕風呂にて回復する炎熱燒くが如き山野を朝から眞黑になつて行軍し支那民家の宿營に着けば甕風呂沸しが忙しい、湯を沸かして甕に入れて小さな甕風呂に澤山集まつて入浴するのも行軍の樂しみで有る。

外科　花柳病　專門
木村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

繭價豫想通り
五十圓突破
市況益々白熱
依然強氣をふくむ

四倉市場の繭取引は既報の如く强氣を含み昂騰氣配を示して居た處俄然二日に至り白繭の最高は五十圓を突破し五十圓卅錢を唱るに至つた當日は最低でも四十六圓廿錢、馴が四十七圓卅錢にて總量七百九十七貫の取引を見た、黄繭は取引量六貫で最高四十三圓六十錢、最低卅八圓、馴四十三圓四十錢にて依然好況を呈して居る

江名の學童
美化運動
五時に起床して
全町道路を掃除

石城郡江名町小學校の尋常六年生以上の兒童は本月一日より毎朝五時に起床して自發的に全町内道路の美化運動を行ひ塵一つ殘さぬ迄に掃除をなすので地元民から非常に感謝されて居ると

商友會長
菅本氏推薦
委員が交渉

平商友會役員會は昨日午後七時よりマルトモホールに於て開れたが出席者は二十八名にて滿場一致現會計たる菅本利雄君を會長に推薦左の如く交渉委員を擧げて交渉する事になつた

中村政　服部甲　鈴木武雄　中根義夫　里見榮一

殺人事件
豫審が終結

既報石城郡小名濱町字古港百十七番地魚行商人月山嘉信（三三）が本年六月十五日午前三時二十分頃石城郡内郷村大字宮字金坂坑夫人見三吉方で同炭礦坑夫竹田康應（四三）と相撲競技の事から喧嘩となり同人を出刄庖丁にて殺害したる事件は平支部豫審廷に於て藤原豫審判事係淺野書記立會の下に取調べ中の處本日豫審終決殺人罪として平支部公判へ廻された

江名濱が
隔離舍を閉鎖

石城郡江名町傳染病隔離病舍は最近迄腸チブス患者八名、疫痢一名、ヂフテリヤ一名、計十名を收容して居たが去る二日を以つて全患者全快し退舍したので直ちに閉舍したが同町本年度の傳染豫防費は二千三百圓で昨年より三百圓の增額支出を見たと

繭代金を握り
浮れ歩く男
乳呑兒を抱へて
女房が說諭願出

双葉郡大久村字大久齊藤甚太郎（二八）は去る卅日四倉繭市場で繭代金の百五十圓を握り急に氣が大きくなりフラ〳〵と平町に出掛けて來りカフエーから南町の白首果ては新田町に繰り込み大盡風を吹かして家に歸らぬので妻のハル（二六）は昨夜乳呑兒を抱へて平署に夫の說諭方を願出た

窃盜懲役服罪

既報住居不定前科二犯内藤鶴吉（二五）に對する窃盜事件の言渡し公判は本日午前九時より平區裁判所に於いて竹内判事係、上田檢事、吉田書記立會の下に開廷求刑通り懲役一年六ヶ月を言渡され直ちに上訴を拋棄し服罪した

平第一校の生徒が
八幡神社境内淸掃

平町八幡小路鎭座縣社飯野八幡神社の祭禮は來る十四五の兩日であるため平第一小學校高等科第一學年生は九日奉仕作業として同境内の掃除をなすと

夏朝課題
展覽入賞

既報平第二小學校にては去る三日より二日間全校生徒の夏期課題成績品展覽會を催したが入賞は左の如く三百十一名にて本日各々賞狀を授與された

尋常科（一年）坂内紀子外四十七名（二年）永島悅子外四十三名（三年）馬目靜外四十八名（四年）松本つね外三十五名（五年）桐谷つね外四十四名（六年）阿部トシ子外三十八名、高組科（一年）島田延子外三十二名（二年）稻邊ユキ外二十三名

諸物價昂騰に
刺擊されて
炭礦界も色めく
好間が勞働者雇入

石城郡好間村の古河、小田其他の炭礦では昨今の諸物價高に刺戟され賣先良好の見越がついて來たので最近勞働者の雇入れをなす向が多くなつた

湯本下水掃除

石城郡湯本町各衛生區では傳染病豫防の爲め昨四日聯合して全町下水路の掃除を行つた

磐女校外遠足

磐城高等女學校にては來る二十二日赤井方面へ全校生の校外遠足を行ふと

ツト虫發生で
小作料値下要求
窪田部落が交渉を開始

既報石城郡勿來町にては稻苞虫發生の爲め窪田部落では五十町餘を荒されて平年の半作と云ふ減收を見越されるので部落民卅餘名は去る三日小作料の値下方を地主に交渉開始したと

平職業紹介所報告

回求人の部

△配達　三十才以下　尋卒　月五圓位（四倉町某）
△女中　二十才以下　尋卒　給料面談（平町某）
△女中兼兒守　二十才以下　尋卒　給料面談（平町某）

回求職の部

△雜夫　三十才以下　尋卒　給料面談（飯野村某）
△事務員　二十三才　簿記學校卒　給料面談（内郷村某）
△商店員　十六才　尋卒　給料面談（平町某）
△齒科技工　四十才　中三修　給料面談（平町某）
△雜婦　四十才　尋三修　給料面談（平町某）

JOK 明日のラヂオ 仙台放送局
六日

今晩の部

▼後六、〇〇子供の時間　お話　ゴム　楠正伯
▼後七、三〇　産業ニュース
▼後八、〇〇　三曲「俊寛の曲」佐々木松波外
▼後八、二五　人形淨瑠璃「其幻影血櫻日記」竹本錦太夫外
▼後九、三〇　時報　全國ニュース　氣象通報　番組豫告

明日の部

▼前六、三〇　家庭教育講座「個性を活かす教育」大阪教育研究所長　大伴茂
▼前七、〇〇　エスペラント講座日本エスペラント學會國際常設代表進藤靜太郎
▼前九、一〇　料理献立「鰹の三洲燒」一戸伊勢子
▼前一〇、三〇　家庭講座「挿花の根本を語る」增田喜峰
▼後〇、〇五　浪花節「伊達の華女夫武勇傳」東武藏
▼後二、〇〇　婦人講座「現代と日本婦人」文學博士深作安文
▼後二、五〇　運動競技（雨天順延）「ミシガン大學對法政野球試合狀況」豫備日
▼後六、〇〇（子供の時間）お話「小鳥とわたし達」熊谷三郎
▼後六、三〇　夏期英語講座（二六）鹽谷榮
▼後七、三〇　講演「科學上より見たる水及び空水のスポーツ」東北帝大教授工學博士　宮城音五郎
▼後八、〇〇　講演「オリムピックに臨みて」オリムピック派遣女上陸上選手山形女子師範學校生徒柴田たか
▼後八、三〇　放送舞臺劇「戀飛脚大和往來」仙臺座より中繼　實川延若　市川右團次一座
▼後九、三一　滿洲より

天氣豫報

今晩は南東の風　驟雨模樣明日は北の風曇り驟雨氣味

講談　武藤剣士

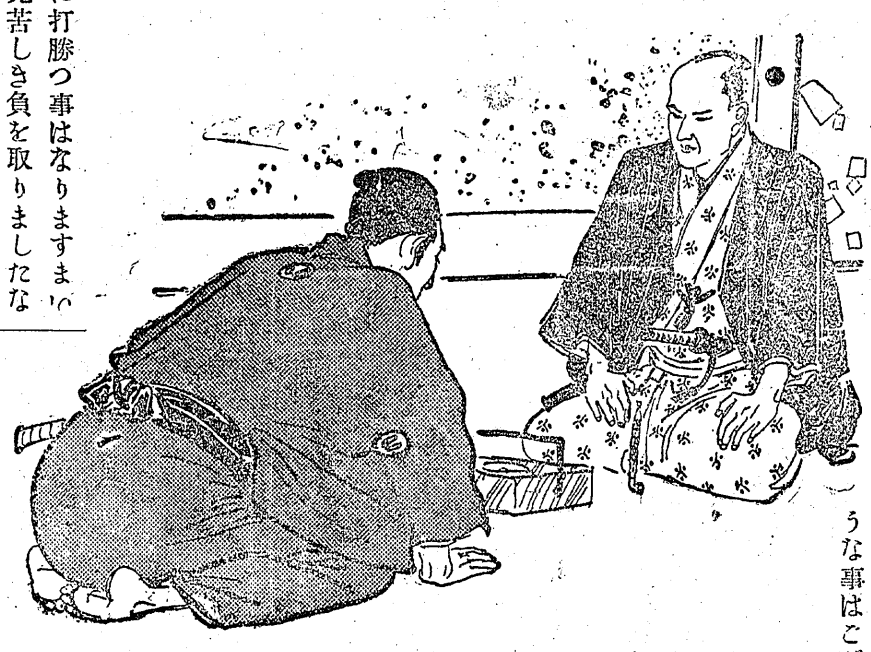
【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第百四十三席　女流劍客里見靜枝

圖に當つた空涙

長谷部傳藏は里見主計に向ひいと殊勝なる態度にて傳『先づ先生お聞き下さい拙者は上杉の家臣でござつたが重役共の意に逆らひそれが爲に同僚の藪下平八、秋田丈助と共に浪人いたしましてそれより江戸に出て町道場を荒し廻り、イヤモウ亂暴を働きました、これとても己れの武藝を誇るわけではござらぬ、立派な道場の持主でありながらその枝は未熟なる者もございます、それ等を懲しめて眞の武藝者ならずば師として立つことのならざるやうにいたさんものと斯樣存じて町道場に押寄せては試合いたした、斯く申すと我々共の非行を飾るやうに思はるゝでござらうが恁ういふ意志にて暴れ廻りました、然し先生の爲にイヤもう辛き目に遇ひこれに依つて前非を悔ひ只管技を勵みました爲に立花侯のお目に止まつて奉公いたす事になり先づはこれにて一生安泰と喜びましたが、サテ茲に困難な事がござる、出世をいたすその前に一ッの障碍がございます、これを除かねば



の地に身を置く事もなりませぬ、その障碍とはどんな事かと申すに立花家にて拙者の技を試みることになりましてその敵は先生との事にございます、とても先生にございます、ロ

うな事はござ

し置きました、當時親戚の許に厄介になつて居りますがこれは本年七十歳、最早茲兩三年の内には世を去るでございませう、拙者が立花家に仕へた上は母を引取り老後を安樂にすごさせたく、どうぞ此邊を御推察下さるやう又勝ちをお讓り下されとは申さぬ、見苦しからざるやうにお手加減をお願ひ仕ります』

と申した、それ主計は聞いて

主『貴公と試合をいたす事はまだ承らぬが先づそのやうな事はこざ

勝をお讓り申すでござらう立派に貴公に勝たせるやうにいたす』

傳『イヤ／＼勝利をお讓り下さるやうにとは願ひません、相打になりますれば拙者の譽でござる』

主『イヤそれは叶かん、相打には成らぬ斯樣云つては失禮ではござるが相打に致すは同一の技ならずは出來難い依つて貴公に勝たせる手前は浪人貴公に敗れたとて恥辱でもござらぬ、況して貴公は老母を養ふ爲に御奉公をなさるとの事然すれば手前が敗れを取るは大いなる功德』

傳『左樣にございますか、母も此儀を承りましたならば嘸かし喜ぶことでございませう、先生のお慈悲深き事は心に刻み附けまして死するとも忘却いたしません有難い事にご存じます』

目を拭つた、これは涙を流した處を見せるため、主計は正直な人間ですから長谷部の申す事を眞實と思つた

主『シテ藪下又秋田殿は其後どうなされた』

傳『彼等は何れに居られますか、本年の正月別れて以來、更に消息もございません』

主『武藝修業の爲に他國に出られたものであらう、貴公と云ひ彼の方々と云ひ技は出來て居るが心の修養が足らぬゆゑ不覺を取る、然し貴公は改心して技を上げられたは芽出度い』

傳『ハイ先生の仰せの通り

に打勝つ事はなりますまい見苦しき負を取りましたならば奉公いたす事もなりませぬ、何卒其節は拙者の恥辱とならざるやう御斟酌下されるやうお願ひつかまつります、斯樣に申せばとて自分の安泰を圖るためではございません國元に母を殘

るまい』

傳『イエ宮本佐仲殿のお話しにて殿樣の御前に於て先生と立合ふ事は内定いたした由』

主『さすれば何れ御沙汰がございませう、節は貴公に

心の修業をいたさぬ爲にイヤもうさん／＼の失敗、これが大きに藥になりましてございます、左樣ならば試合當日は』

主『必ず、勝を讓るであらう』

と云はれて傳藏は大喜び主計は酒肴を出して長谷部を待遇した、長谷部は繰返し繰返し禮を述べて麹町貝塚の浪宅に戻り藪下平八、秋田丈助に里見主計を口説き落した事を告げてまづ芽出度いと喜びました

貸切は
電話三四三番の
ミシサ
昭和タクシー!!!

藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

難波醫院
平町新川町
電話五〇二

日本吸收料理
氣管食道科
平南町（電話一七〇番）
大和田醫院

季節御料理
柳川一人前　金二十五錢より
うな丼　金三十五錢
蒲燒　金五十錢
金五十錢より
右大々勉强出前迅速
◎滋養豐富！風味美味！
是非一度御試食を……
大蒲燒・鳥料理
壽司・折詰仕出し
魚榮
田町（電話四二四番）

度量衡、計量器、吸入
用酸素、酸素吸入器
關内藥局
電話四〇番

新製品
コーヒー通の待望せる
挽立コーヒーの快味
四半卦罐入　〇、三五
半卦　〃　〇、六五
コーヒー發賣
グアテマラ
モカ
ジャバ
コーヒー二割三分五分
コーヒー三割四割五分
三種配合
速席挽立てを差上げます
大勝園コーヒー部
電三九六番